



稲ホールクロップサイレージ(=稲WCS) Q&A

皆さん、牧草は十分に収穫できましたか？今年の暑さで牧草が枯れたり、3番草にさび病がでたりして、牛に食わせる草が足りないかも！という方もいるのではないのでしょうか。今号では、稲WCSのよくある質問と回答を掲載しました。牧草とは栄養特性が異なることを理解し、稲WCSを上手に使うことで粗飼料不足を乗り越えましょう！



Q 収穫適期はいつ？食用米と一緒にいいの？

A 食用米より早く収穫します。出穂後15～30日頃が収穫適期です。

- ・但し、稲WCS専用品種「つきはやか」は出穂後30～40日以降が収穫適期です。
- ・牧草と同じように、収穫時期により飼料成分が変わります。
- ・今年の盛岡近辺の出穂時期は8/1頃だったので、収穫適期は8月中旬～下旬でした。
- ・収穫時期が遅れると→CP減少・TDN同等～微増・デンプン増加
→CPや繊維の消化率低下
→消化できない粗が増加⇒栄養ロスや食滞に注意



熟期	出穂後の目安	飼料成分(乾物中%)		
		CP	TDN	NFE(デンプン等)
乳熟期	10日後	7.3	50.3	46.4
糊熟期	10～25日後	6.4	53.2	48.1
黄熟期	25～40日後	5.8	54.0	51.2
完熟期	40～50日後	5.4	53.6	53.2

Q 繁殖牛に食わせると受胎しなくなるの？

A 過剰に給与すると、牛が過肥になり繁殖性が低下します。

(稲WCSの特徴)

- ・牧草と比べて→タンパク(CP)低い・エネルギー(TDN)同程度・デンプン多い
- ・過剰に給与すると→CP不足・TDNとデンプン過多⇒過肥になる
- ☆タンパク質が高い再生草と組み合わせて給与しましょう。

稲WCSと再生草の給与量例(原物kg/日・頭)

飼料名	妊娠末期	授乳期	維持期
稲WCS(黄熟期)	10	10	12
乾草(再生草)	3	4	2
繁殖用配合飼料	1	3	



牛も人もバランス
良い食事が大事

※乾草はCP15、TDN56
配合飼料はCP16、TDN70

Q 白いカビは食わせてもいいの？

A ダメです。

カビの毒性の有無は見た目では判断できません。
どんな色のカビも、カビの部分は廃棄しましょう。



Q 新しいWCS専用品種があるって？

A 昨年、県内で初めて栽培された「つきはやか」という品種があります。

<つきはやかの特徴>

- ・穂が短く、粗の収量が極端に少ない
- ・未消化で排出されやすい粗が少ないため、栄養ロスが小さい
- ・茎葉に糖分が蓄積されるため良質のサイレージを調整しやすい
- ・繊維の消化性が良くTDN含量が高い
- ・収穫適期が長い（出穂後30～40日以降）

今年は県内
各地で栽培
されました！

<R4奥州地域の栽培実証結果>

- ・播種4/29→移植5/25→出穂8/17→刈り取り9/30
- ・ひとめぼれとの比較：草丈・乾物収量が約1.2倍
穂の割合が半分以下
TDN含量が高い



	草丈 (cm)	乾物収量 (kg/10a)	乾物割合 茎葉：穂	TDN (乾物中%)
つきはやか	157	1,677	81：19	61.9
ひとめぼれ	130	1,408	60：40	53.8

《子牛を大きく育てよう！》～岩手県肉用牛飼養管理マニュアルから

～ 哺育牛の飼養管理「**離乳**」について～マニュアルのダウンロードはこちら



離乳はいつから？

90日齢以降を目安にスターターの摂取量や発育、被毛の状況などを踏まえて判断しましょう。

最低2kg/日以上を
安定的に摂取

離乳は大きなストレス

離乳時は、断乳、餌の切り替えのほか、親牛との分離による環境の変化など、多くのストレスが重なり、**採食量や免疫機能の低下で発育が停滞する**恐れがあります。

やってみよう！

スムーズに離乳させるための3ポイント！



1 育成用配合飼料に慣らしてから分離する

→ 2週間程度かけて、スターターに育成用配合飼料を混ぜながら段階的に切り替え

離乳子牛群を作るときは一気に！なるべく途中追加はしない

2 群を移動するときは、できる限り一斉に動かす

移動は、みんな一緒に！

3 子牛ではなく、母牛を移動

